

平成30年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：平成30年5月29日（火）13：00～14：25

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	佐々木 光俊	経済学部長・教授・理事・評議員
5	大沼 徹	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	小針 美由紀	高校教頭・評議員
9	長谷川七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	鹿島 富士夫	千葉経済大学同窓会会長・評議員
11	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
12	丸 孝	千葉経済大学父母の会会長・評議員
13	加賀屋 光洋	千葉経済大学短期大学部後援会会長・評議員
14	水澤 健之	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
15	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
16	安田 敬一	安田教育振興会理事長・評議員
17	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
18	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
19	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
20	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
21	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
22	石渡 哲彦	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
23	栗沢 尚志	大学教授・評議員
24	藤代 謙二	評議員
25	高屋 和彦	大学教授・評議員
26	佐久間 達郎	評議員
27	堀 敏明	日本私立学校振興・共済事業団企画室次長・評議員
28	積田 悟	前高校副校長・評議員
29	池澤 秀夫	(株)千葉興業銀行顧問・学園監事
30	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】平成29年度事業報告について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園平成29年度事業報告書」に基づき、法人の概要、事業の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて学習環境の整備に努めるとともに教育の充実・推進にあたった。

学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ教育環境の整備を行った。

平成29年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 建学の精神の啓蒙教育

論語から十二訓を選んで大学・短期大学・附属高校の教室等に掲示し、「片手に論語 片手に算盤」の精神の周知徹底を図るとともに、大学では「論語と社会」の科目を引き続き開講し、附属高校では論語ノートを活かして建学の精神の涵養に努めた。

(2) 大学・短期大学・附属高校の連携推進

大学・短期大学・附属高校三者の連携会議を随時開催し、ビジネス教育関係、入試・進路・広報関係、学生活動関係の各分野にわたって学園として密なる機能連携を図った。

(3) 広報の充実強化

大学・短期大学・附属高校のそれぞれの入試に係る広報に加えて、より幅広い情報発信や、JR千葉駅の改札口前デジタルサイネージの広報モニターを設置するなど新たな手法による情報発信、および学園全体についての広報に取り組んだ。また、情報企画戦略室によるIR（大学情報調査企画）推進のための具体的情報の集約に努めた。

(4) ボランティア活動の推進

地域貢献という学園の使命を果たすため、千葉市や地域の関係団体と連携した学生・生徒のボランティア活動を推進した。

(5) 資格取得奨励

大学・短期大学・附属高校それぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した。授与された学生・生徒は延べ数で、大学院 1 名、短期大学 16 名、高校 36 名である。

(6) 学内ワークスタディ学生の活用

国庫補助金を活用して、学内ワークスタディ学生として大学生 18 名、短期大学生 10 名を雇用し、もって経済的困難を抱える学生の継続学修の支援に努めた。

(7) 学園監事の監査機能の充実

監事は学校法人の管理運営が適正に行われているか監査するため、財産の状況のみならず、理事の業務執行の監査にも努め、理事会、評議員会に出席するとともに、随時、学園の事業の監査を行った。

(8) 組織的な SD 活動の推進

法人本部及び大学・短大事務局職員について、必要な資質及び能力の向上のため「千葉経済学園事務局研修方針」及び「千葉経済学園事務局職員研修奨励金交付要綱」を定め、職員が総合的・体系的な研修を自発的・計画的に実施し、また、業務に関する資格取得を支援することで、学園の管理運営及び教育研究のより一層の充実向上を推進する体制を整備した。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 新校舎の点検改修工事

竣工後、12 年目となった新校舎の予防保全のため点検改修工事を実施した。

(2) 学力向上のための授業内容の充実

生徒の学力向上に資するために、出張等の場合は授業を振り替えるなど授業時間の確保に努めるとともに、課外における補習授業等も積極的に行った。

(3) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進プロジェクトチームが中心となり、しっかりした目標設定をさせ受験に取り組む

よう指導をした結果、センター試験受験者も増加し、その獲得点数も上昇傾向を示してきたが、首都圏大学の入学定員厳格化により進学実績は向上しなかった。

(4) 部活動の振興

部活動の振興に努めた結果、ソフトボール部が全国高校総体において第3位となるとともに、バスケットボール部・卓球部・自転車競技部・ボクシング部が出場した。また、将棋部・珠算部も全国大会に出場した。

(5) 定員確保のための生徒募集活動の遂行

定員確保と入学生徒の質向上を図るため、入試広報委員会を中心に全教職員でオープンキャンパスや入試説明会等に取り組んだ結果、30年度入学者数は620名で学則定員を60名上回った。

(6) いじめ及び体罰の防止に努める

いじめ防止対策推進基本法等に基づいて設置した「いじめ及び体罰防止に関する規定」により、予防と早期発見に努めた。いじめの認知件数は0件だった。

(7) 新規採用教員の研修充実

新規採用教員及び経験年数の浅い教員に、校内研修や外部における研修への派遣で教員としての資質向上の機会を与えるとともに、中堅以上の教員との意見交換により実践力を向上させるための機会をつくった。

【2】平成29年度決算について

議長の指名により、石井 伸 法人事務局会計課課長補佐から別添2「平成29年度 学校法人計算書」及び資料1「平成29年度決算概要」に基づき、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書及び事業活動収支計算書についての説明が行われた。引き続き、植松 省自監事より資料2「監査報告書」について説明がなされた。

【3】千葉経済大学附属高等学校第2、第3体育館の解体及び新体育館の建設に係る借入金について

議長の指名により、石井 伸会計課課長補佐から別添3「千葉経済大学附属高等学校第2、第3体育館の解体及び新体育館の建設に係る借入金（案）」に基づき説明された。

【4】その他（報告事項等）

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告及び「高校の満足度調査結果」についての報告があった。

①今年度は 620 名の新入生を迎えて全校生徒が 1,790 名となりました。学則定員を遵守するということで調整をしながらの生徒募集をしております。

②運動部は春の大会を迎えて、多くの部活動が、既に関東大会出場を決めており全国総体を目指しております。文科系の部活動も活発で福祉教育の推進指定校に昨年度からなっており、外部に向けてのボランティア活動の企画を考え始めております。本年度は、プラスバンドや折り紙同好会が老人施設への慰問へ行く等の活動をしております。

内部を充実させながら外への活動をとおして生徒たちが成長する教育をしております。

③「高校の満足度調査結果」ですが、年に2度、全校生徒からアンケートを取っております。項目別に学校生活にどの程度満足をしているかということ率直に生徒に記入させて、それを集計した物です。

本校の特徴としては全科、学年を見ても非常に友人関係の満足度が高く出ております。

友人関係が円満で非常に楽しい学校生活を送っているという結果がでております。この結果をとおして生徒の状況を掴みながら今年度もしっかりとした教育を続けていきたいと思っております。

・意見

①特進コースの成果で、減った原因を抜本的に考えた方がよい。

②医学部に合格をした生徒がいるということをPRしてください。